

福岡県倫理法人会の 活動に期待します。



福岡県知事 小川 洋

福岡県倫理法人会は、2017年に設立35周年の記念すべき年を迎えられました。本県出身の創始者 丸山敏雄先生の「純粹倫理」の考えを実践され、今日では、会員数は4,000社を超え、大いに発展を続けておられます。これも地域に密着した倫理運動の実践と普及に努められた結果であり、歴代の会長をはじめ役員、会員の皆様の御努力に深く敬意を表します。

私たちの生活は物理的に大変豊かになりました。一方で、社会のさまざまな分野で倫理の欠如、モラルの低下が原因と思われる問題が発生しています。また、東日本大震災や熊本地震など、全国各地で起こった大規模な自然災害を通じて、人々の連帯感、家族の絆の大切さをあらためて実感することとなりました。

このような時代にあって、「企業に倫理を」「職場に心を」「家庭に愛を」をスローガンに、社会に貢献し活力ある企業を目指して「心の経営」を実践されている皆様の活動は誠に意義深く、益々大切になっています。

今、少子化、人口減少がいわれる中、それぞれの地域をいかに元気にしていくか、「地方創生」が大きな課題です。私は、「誰もが住み慣れたところで働き、安心して子どもを産み育て、長く元気に暮らすことができる社会にすること」が地方創生の基本だと考えています。住み慣れた地域から若者が働くために出て行かなくて済むよう、県では、それぞれの地域に魅力ある雇用の場を一つでも多くつくっていくため、「地域の中小企業の振興」と製造業、観光、農林水産業など「それぞれの地域の特色を生かした産業の振興」を図っています。

加えて、出会い、結婚、子育て、就職など、人それぞれのライフステージに合わせたきめ細かな施策を総合的に切れ目なく講ずるとともに、女性や高齢者の活躍の応援や子どもの貧困対策など、安心して生活できる「共助社会」の実現にも取り組んでいます。

こうした取組みを通じて、県民お一人おひとりが福岡県に生まれて良かった、生活して良かったと実感できる県民幸福度日本一の福岡県を目指してまいります。

福岡県倫理法人会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝を心からお祈りいたします。